



きよせジェンダー平等広報

2025.4

106

清瀬の農業

清瀬市公式キャラクター
ニンニンくん



清瀬市男女共同参画センター(アイレック)



清瀬の農業



清瀬市は、都心へのアクセスのよさから、住宅や団地が建ち並ぶベッドタウンです。そして、消費地に近いという利点を生かした都市農業が展開されています。市内に点在し、気軽に立ち寄って農作物が購入できる直売所は、清瀬の大きな魅力の1つです。私たちが、朝どりの新鮮な野菜が楽しめるのも清瀬の農地と農業を守ってきてくれた農業者のおかげでしょう。

清瀬の農業をクローズアップすると共に男女共同参画の視点から農業を考えます。

。。。清瀬の農業の昔と今。。。

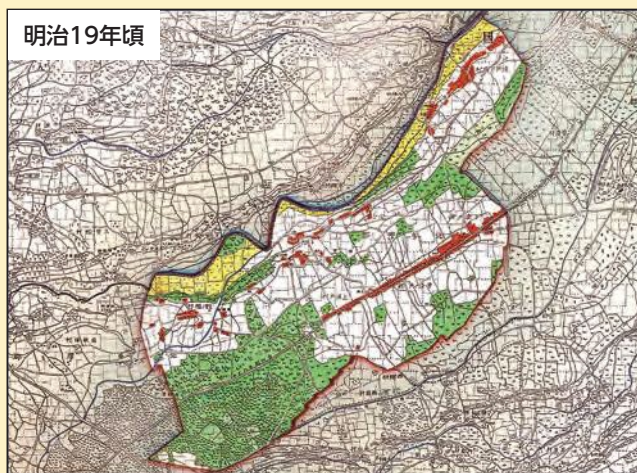
清瀬の農業はどう変化してきたのでしょうか。

昔

田んぼとうちおりの文化が存在していた街

■戦前（明治）

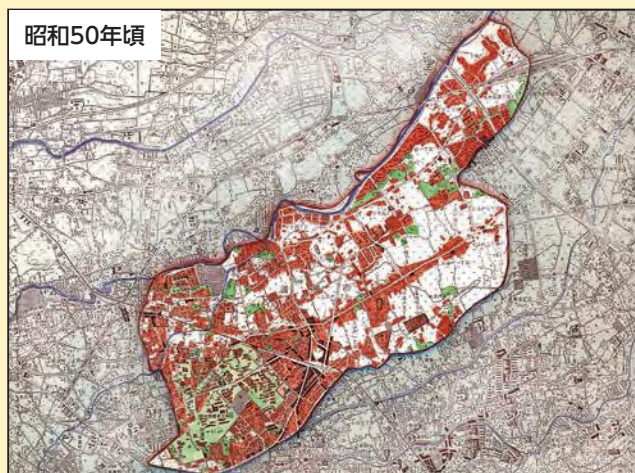
- ・ 田んぼが存在
- ・ 野菜の他、米、小麦、養蚕、茶



明治19年頃

■戦後（昭和）

- ・ 田んぼは消滅、雑木林も減少
- ・ 住宅地が広がる



昭和50年頃

※清瀬市郷土博物館の資料より

●うちおりの文化

国の重要有形民俗文化財。農家の女性たちが織った自家用の衣類。養蚕のくず繭で引いた絹糸が使われていました。清瀬の農家の女性の暮らしは、本『麦畑をかけぬけて-聞き書き 清瀬の女たち-』にも詳しく載っています。



『麦畑をかけぬけて
-聞き書き 清瀬の女たち-』

清瀬市男女共同参画センター
清瀬・女性のくらしを記録する会編著

今

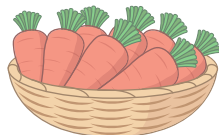
農地と住宅地が隣り合う街



● ココがすごい 清瀬の農業 ●

● 都内ダントツ 1 位のニンジン生産量

- 1 位：清瀬市
2 位：八王子市
3 位：町田市



東京都内では年間3500トンが生産され、そのうち3割を清瀬が占めています。

※東京都農作物生産状況調査結果報告書（令和4年産）より

● 都内 2 位の農地割合

- 1 位：利島村
2 位：清瀬市
3 位：瑞穂町



清瀬の面積、約1000ヘクタールに対して農地は約170ヘクタールあり、市全体の面積の17%が農地です。

※令和5年農林水産省「作物統計調査耕地面積」より

● 都内 3 位の酪農戸数

- 1 位：八王子市
2 位：瑞穂町
3 位：清瀬市



都内約40戸の酪農家の中で清瀬は5戸と3位の戸数です※。清瀬の牛乳は、毎朝、都心に運ばれ、フレッシュチーズにもなっています。

※東京都酪農業協同組合ホームページより

● 若手農業者の多さ

清瀬の農業人口では、40代までが約22%を占めており、全国での割合が11%の中で、その2倍の若手農業者がいます※。有利な販売のための出荷組合の立ち上げ、SNSを駆使した販売促進、スマート農業への取り組みなど、若手ならではの行動力で清瀬の農業を支えています。

※2022年農林業センサスより



～ 男女共同参画の視点から～

清瀬市の農業人口の男女比は、おおよそ半々ですが、農業経営者は、主に男性で占められています。女性農業経営者の割合は全国平均を下回っています。

国が定める「地域における男女共同参画の推進の成果目標」※¹として、家族経営協定※²の締結数や農業委員※³に占める女性の割合などがあります。清瀬市においては、家族経営協定を結ぶ農家の割合は全国および東京都の値をはるかに上回っています。一方、農業委員は14人中、女性は1人です。今後は女性や若手農業者の登用を増やす方針を掲げています※⁴。女性や若手の登用によって、多様な視点から議論がなされ、より活気ある活動が期待されます。



※1 「第5次男女共同参画基本計画～すべての女性が輝く令和の社会へ～」(令和5年12月26日閣議決定)

※2 家族経営協定：家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき取り決めるもの。

※3 農業委員会：市町村に設置され、農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等の事務を執行する行政委員会

※4 「令和6年度清瀬市農業委員会活動指針」(令和6年4月)より

(※1～3は農林水産省ホームページ「女性の活躍を応援します」より)

インタビュー



さまざまな形で清瀬の農業に携わる人たちにインタビューしました。

直売所のある生活

Mさん（40代）上清戸在住

実家は市外の農家でしたが、清瀬の農家の人と結婚しました。主に夫、義父が野菜を栽培し、私は直売所に関わる仕事をしています。

直売所の朝は旗立てから始まります。冬は6時過ぎから、夏は野菜の成長が速いので、朝4時頃から収穫や袋詰め作業をします。開店前後は家事と子育てに追われます。子どもが赤ちゃんの頃は直売所で家族皆が代わる代わる見守っていました。幼稚園入園後も休みの日は直売所に連れてくることもありました。

直売所の開店時間は大体10時半から14時半まで。お客様から直接「おいしかった!」「きれいな野菜だね」と声を掛けていただけるのがうれしいですね。対面販売ではお客様がどんな野菜を欲しがっているかが分かります。また会話から次に作る野菜を決めることもあります。

清瀬にはたくさん直売所があって、それぞれに特色があります。他の直売所にも足を運んでみてください。私自身も他の農家さんが作っているお野菜が気になるんです。

農業は「暑い、寒い、毎年同じ作物を作っても同じように育たない」と苦労することもあります。新鮮でおいしい野菜を食べられることは農業をやっている良かったと思うところですね。



農業は楽しい! でもそれだけじゃないんです

宮秋道男さん（70代）梅園在住（農園は下清戸）

40年前に東久留米で無農薬野菜を作り始めました。清瀬に移ってからは生産緑地を借りて就農、あと長野県で米作りもしています。空を見て、風を感じて、一日中畑仕事するのも苦じゃない。自然の中に自分がいる、農業はそれが実感できるんです。

野菜を配達している方とはSNSで繋がっていて、農業の情報を共有したり、食べた感想をくれたりと私も励みになります。畑に手伝いに来てくれる人もいますよ。消費者を応援者として巻き込むことで都市農業はより盛り上がると思います。

「日本の農業の実情を知ってほしい」という思いから企画した江戸東京野菜の講座は、定員を超え

る応募があり、農業への関心の高さを実感しました。伝統野菜の話に始まり、野菜の種の9割は輸入だという話、食料自給率の話など、江戸東京野菜を切り口にいろいろな話ができました。参加者の多くは女性で本当に熱心。「女性の力が農業を変えるんじゃないか」そう感じました。

私のやる小規模農業は正直全然お金にならない。夫婦で本業があるからできている。米作りなんて時給10円の世界と言われ、3か月丹精して育てた大根は200円でも高いと言われる。「安いのは良いことだけど、本当にそれだけで良いの?」って、農業の未来のために皆さんも一緒に考えてみませんか。



自家製フルーツでジャムに挑戦

増田布美子さん（50代）中清戸在住

看護師として働き、代々続く農家で花の栽培をしている夫と結婚しました。子どもが生まれてからも看護師を続けたい気持ちはありましたが、家に居てほしいという家族の思いをくんで辞め、子育てが仕事だと思って頑張りました。

結婚した当初は、冠婚葬祭などでの農家同士の親密な関わりに戸惑いましたが、今では温かい心の交流になり“遠くの親類より近くの他人”ということわざの意味がよく分かります。JAの女性部でも活動をしています。清瀬の伝統的なおまんじゅうやお赤飯を作って販売をしたり、バザーを開いたりしています。

コロナ禍が転機となり、フルーツの栽培に力を入れるようになりました。今は、パッションフルーツ、ベリー類、柑橘類を作っています。実母がよ

くジャムを作っていたことから、自分も作ってみたいと思っていました。マーマレードの品評会^{*1}で受賞したことも後押しし、今は自家製フルーツを使ったジャムを販売する準備をしています。ラベルは、チャレンジ農業^{*2}として支援を受けて、すてきなデザインに仕上がりました。今まで興味を持ってやってきたことが、じわじわと形になっていくのを実感しています。



※1 ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル 日本大会にて受賞

※2 東京都農林水産振興財団、チャレンジ農業支援センターの支援

清瀬の畑で未来を考える 『はたけっこクラブ』の大学生たち

NPO法人『農の未来ネット』（清瀬市梅園3-21-23）が支援している学生組織『はたけっこクラブ』。そこに所属する立正大・立教大の農業経済学ゼミ生たちは、東久留米の農家の手伝いや、清瀬の畑^{*}で野菜作りをしています。

※学生たちが使用している畑は『農の未来ネット』の事務局長である田沼繁さんが「都市農地賃借円滑化法」にのっとって借りているものです。



小串一郎太さん（立正大3年／長崎県出身）

農家の家庭で育った私は、農地面積減少や後継者不足などの、日本農業の課題を感じています。農業が身近にない友人や後輩には第一次産業という原点に触れてほしいですね。活動では、野菜作りに失敗する時もありますが、その原因を追究することや次に繋がる発見があることが面白いです。

星野大地さん（立正大3年／神奈川県出身）

畑作業は、手作業で種を植えるなどの肉体労働が大変です。でも、自分たちで作った野菜を収穫することは達成感がありますし、野菜がとにかくおいしいです。活動に参加する前はインドアな性格でしたが、参加してからはアウトドアな性格に。みんなと協力して作業する楽しさを知りました。

宮城妃花さん（立教大3年／沖縄県出身）

祖父母がマンゴーとサトウキビ畑をやっているのので、幼い頃から農業が身近にありました。活動に参加してからは、野菜作りについてより深く考えるようになりました。自分たちで育てた野菜はおいしいですね。野菜作りはとにかく楽しいと感じます。将来は社会経験を積んだ後、故郷の畑を続けていきたいです。

岡本和さん（立教大3年／埼玉県出身）

活動では、人手集めや育てた野菜の販路拡大を考えることが大変ですが、農家さんや他の学生との交流で人の繋がりを感じられることがうれしいです。将来は、農業系の企業で社会経験を積み、40代で観光農園をやりたいです。今、はたけっこクラブで作っている野菜は清瀬市内で販売予定です。立教大・立正大の野菜にぜひ注目してくださいね。

おわりに

応援したい、清瀬の女性農業者

全国的に、女性農業経営者はわずか6.5%※¹であり、性別役割分業が根強く残っていることがうかがえます。そのような中であって、今回の取材を通して、清瀬市では、女性の農業経営者や新規就農者の数も少しずつ増えてきている状況を把握することができました。

農業で活躍する女性を広報する活動に、「農業女子プロジェクト」※²がありますが、本号で清瀬の「農業女子」の活躍を少しでも知っていただくことを願っています。

守りたい、清瀬の農業

高度経済成長期以降、都市部への人口流入などにより多くの農地が消えていきました。そんな中でも清瀬の農業者が守り続けてきた農地は新鮮な野菜の供給だけではない多様な役割を果たしています。

教育・交流

- ・農業体験
- ・食育



環境保全

- ・街の気温を下げる
- ・生き物のすみかとなる

防災機能

- ・火災時の延焼防止
- ・災害時の食料確保

景観創出

- ・ゆとりある街並みがもたらす安らぎや潤い

清瀬の農業を次世代に残していくために私たちができることは何でしょう。直売所などを利用して農家さんが知恵を絞って作ったおいしい野菜を楽しんだり、農業体験や市民農園、援農ボランティア（下記参照）に参加して農家さんや地域住民と交流したり、はたまたベランダ菜園やキッチン菜園で野菜を育ててみるなど、それぞれのアプローチで少しずつ農業への理解を深めることが、これからの清瀬の農業を守り、盛り立てていくことに繋がるのではないのでしょうか。

※1 農林水産省「農業における女性の活躍推進について」（令和7年2月）より

※2 農林水産省ホームページ「女性の活躍を応援します」より

編集委員が「援農ボランティア」を体験

「援農ボランティア」※とは、農家さんの「人手が欲しい」、一般の方の「農作業を通じて農業を応援したい」気持ちをつなぐものです。

今回、私が体験した作業は花のポット苗の苔や雑草取り、汚れた葉のカット。黙々と立ったり、しゃがんだりしながら30分で70ポットほど作業をしました。2時間半で最終的には300ポットをやり遂げました。立ち仕事はつらかったのですが、達成感と満足感でいっぱい。援農ボランティアは手軽に農業体験をすることができます。ただし翌日以降の筋肉痛には要注意です！

※東京都では「とうきょう援農ボランティア」ホームページがあり、清瀬の募集もあります。

詳細体験記は「スクエア+」でご覧ください。



アイレックまつり

令和6年10月12日、13日に「第29回アイレックまつり」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

北原みのりさん講演会「フェムテックから考える性と人権」



「今もなお女性の苦しみは社会課題になっていない」と語る北原さんはフェムテック*が生まれるずっと前から、女性の尊厳を守り、自由に、楽に生きられるための活動をされてきました。一方でフェムテックが経済優先で独り歩きすると、過度な生殖医療など女性の身体を危険にさらすことになるかと警鐘を鳴らします。「フェムテックはローテクくらいでちょうどいい。」北原さんだからこその言葉が印象的でした。

※フェムテック：FemaleとTechnologyを合わせた造語で、女性が抱える健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスなどを指します。（経済産業省ホームページより）

生理用品・フェムテック用品展示

ロビーで特に関心を集めていたのは生理用品・フェムテック用品の展示です。布ナプキンや月経カップなど市販ではあまり見かけない生理用品や、加齢による子宮脱を予防するための骨盤底筋トレーニンググッズなど初めて見るフェムテック用品を実際に手に取って、興味深げに眺めたり、使い方を尋ねたりする方が多くみられました。



ココロとカラダのひろば いのちはどこからくるの？

講師：助産師 遠藤みどりさん



ひろばでは、パネルシアター、かるた、絵本、すごろく、メッセージツリー、相談コーナー、子宮産道体験などの参加型ワークショップを開催。なかでも、パネルシアターでは赤ちゃんが子宮のなかでどのように成長し生まれてくるのか、パネルや小物を使って分かりやすく教えていただきました。「赤ちゃんは生まれる日を知っているんだよ」という言葉が印象に残っています。

かるたでは、心と体に関することを気軽に楽しく学ぶことができました。キュートなイラストで、家族や友達同士で会話が弾みそうです。

映画観賞会『パッドマン 5億人の女性を救った男』（2018年／インド）

21世紀を迎えてもなお、生理用品の普及率が12%であったインドで、愛する妻のため、安価で衛生的なナプキンを作ろうと奮闘する夫の実話に基づく物語です。生理の当事者ではない夫が、偏見や困難をものともせず、妻の体のために奔走する姿が感動を呼びます。男女共同参画社会の実現においても、体の仕組みが異なる相手への理解と思いやりは必要不可欠ではないでしょうか。

本の紹介

『13歳からの食と農』 ～家族農業が世界を変える～

関根佳恵
かもがわ出版

国連が定めた「家族農業の10年」を知っていますか？温暖化や情勢が不安定化する今、食料の8割を生産する家族農業は「SDGs達成のカギ」として世界で価値が再認識されています。農業者が減り続ける日本で今一人ひとりができること、未来のために変わらなければならないことは何か、道しるべとなる一冊です。



農家の娘として育った著者は、全国の農家が報われる社会を作りたいという想いで“生産者ファースト”を掲げながら会社を立ち上げ、「食べチョク」というサービスを開始しました。著者の行動力や周囲の方たちのお話から、農家に対する熱い情熱がひしひしと伝わってきます。

『365日 #Tシャツ起業家』 「食べチョク」で 食を豊かにする農家の娘

秋元里奈
KADOKAWA



やさしく知りたい先端科学シリーズ11 『スマート農業』

中野明正
創元社

労働力不足や気象災害により、農業危機にある日本。本書は、食料生産の現状分析から問題を明らかにし、その解決法として、先端科学技術やデータを駆使し、作業の効率化や作物の品質向上を実現する「スマート農業」について分かりやすく解説しています。



第二部「都市を耕し、暮らしをつくる」では実際に農業を通して市民に農業のチカラを感じてもらう機会を作り、ひとを変える・育てることを実現している3人の話が描かれています。彼らのさまざまな取り組みは気構えることなく一般市民が農業に対して「私もやってみようかな」と思わせてくれます。

『農の力で都市は変わるか』

小口広太
コモンズ



編集後記

本号の作成を進めていくうちに、街中にある畑によく目が行くようになりました。これまでの清瀬での生活と変わらない風景なのに、農業に携わる方々の想いや都市農業としての役割を知っていくと、清瀬の畑がより尊いものに感じられました。清瀬の魅力を再発見できた貴重な機会でした。（中道）

野菜を必ず直売所で買う私にとって非常に興味深い特集になりました。インタビューでお話を聞いた女性農業者の方はワーク・ライフ・バランスを上手に取って生活を楽しんでいる印象を受けました。清瀬の農業者の方が、日々、おいしい野菜を届けてくれていることに改めて感謝したいです。（中川）

「清瀬の農業ってすごいんだ」と今さらながら知り、命の糧である食を地産地消で支えてくださる農業者さんへ尊敬と感謝の気持ちが一層強くなりました。また女性の農業経営者や新規就農者が増えてきていると知り、清瀬の農業がさらに発展するのではと楽しみにしました。（小島）

全体を通して、まだ知られていない清瀬の農業の魅力があるのではないかと感じました。食料自給率が他国と比べて低い日本を考えると、ますます農業がこれからの日本にとって重要になってきます。清瀬市民としてもっと清瀬の農業の素晴らしさを認識し、そしてもっと農業に注目していきましょう。（岸本）

アイレックは令和7年（2025年）10月に創立30年を迎えます。

30周年についての最新情報は市報の他、「スクエア+」、SNS等でお伝えします。



SNS版ジェンダー平等広報
「スクエア+」



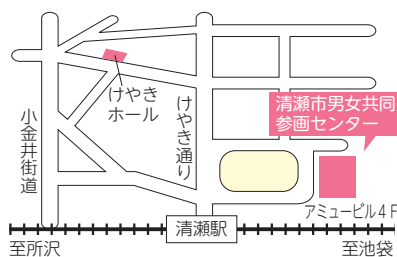
アイレック
Facebook



アイレック
Instagram

次号107号の発行は令和7年10月です

発行／清瀬市男女共同参画センター
発行日／令和7年4月1日
企画・編集／清瀬市男女共同参画センター
〒204-0021 東京都清瀬市元町1-2-11
アミュービル4階
☎ 042-495-7002
FAX 042-495-7008
表紙風景写真：澁谷和男
表紙題字：こうたろう



皆さんの声募集中

Ms.スクエア106号はいかがでしたか？
ご意見、ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどを、
右記二次元コードまたは、郵送、FAXでお寄せください。



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。